

景気ウォッチャー調査

平成12年6月調査結果

平成12年7月17日

経済企画庁調査局

調査の概要

1. 調査の目的

地域の景気に関連の深い動きを観察できる立場にある人々の協力を得て、地域ごとの景気動向を的確かつ迅速に把握し、景気動向判断の基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の範囲

(1) 対象地域

北海道、東北、関東、東海、近畿、九州の6地域を対象とする。各地域に含まれる都道府県は以下のとおりである。なお、平成12年1月調査は関東を除く5地域を対象とした。

地域	都道府県
北海道	北海道
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、新潟
関東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
東海	静岡、岐阜、愛知、三重
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
全国	上記の北海道、東北、関東、東海、近畿、九州の計

(2) 調査客体

家計動向、企業動向、雇用等、代表的な経済活動項目の動向を敏感に反映する現象を観察できる業種の適当な職種の中から選定した1地域当たり100人、合計600人である。調査客体の地域別、分野別の構成については、別紙を参照のこと。

3. 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1)の理由
- (3) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (4) (3)の理由
- (参考) 景気の現状に対する判断（水準）

4. 調査期日及び期間

調査は毎月、当月時点であり、調査期間は毎月25日から翌月1日である。

5. 調査機関及び系統

経済企画庁が主管し、各調査対象地域に地域ごとの調査を実施する「地域別調査機関」を1か所ずつ設けるとともに、各地域別調査機関による地域ごとの調査結果を集計・分析する「取りまとめ調査機関」を1か所設け、これらの機関に本調査業務を委託して実施したものである。

(取りまとめ調査機関)	財団法人 日本経済研究所
(地域別調査機関)	北海道 株式会社 北海道二十一世紀総合研究所
	東 北 財団法人 東北開発研究センター
	関 東 財団法人 日本経済研究所
	東 海 株式会社 東海総合研究所
	近 畿 株式会社 大和銀総合研究所
	九 州 財団法人 九州経済調査協会

6. 有効回答率

地域	調査客体	有効回答客体	有効回答率	地域	調査客体	有効回答客体	有効回答率
北海道	100人	100人	100.0%	東海	100人	98人	98.0%
東北	100人	96人	96.0%	近畿	100人	92人	92.0%
関東	100人	93人	93.0%	九州	100人	95人	95.0%
				全国	600人	574人	95.7%

目 次

概要	1
1．景気の現状に対する判断	2
(1) 全国の動向	2
(2) 各地域の動向	2
(3) 景気の現状に対する判断理由	3
2．景気の先行きに対する判断	15
(1) 全国の動向	15
(2) 各地域の動向	15
(3) 景気の先行きに対する判断理由	16
(参考) 現在の景気水準に対する判断	25
(別紙) 景気ウォッチャー(調査客体)の地域別・分野別構成	26

利用上の注意

- 1 . 景気ウォッチャー調査は、本年より新規に行う調査であることから、当面の間、試行的に実施するものであり、今後、必要に応じ変更することもあり得る。
- 2 . 分野別の表記における「家計動向関連」、「企業動向関連」、「雇用関連」は、各々家計動向関連業種の景気ウォッチャーによる景気判断、企業動向関連業種の景気ウォッチャーによる景気判断、雇用関連業種の景気ウォッチャーによる景気判断を示す。なお、このうち雇用関連業種は、主として企業の求人動向に関連した業種である。
- 3 . 表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、計と内訳は一致しない場合がある。

D I の算出方法

景気の現状、又は、景気の先行きに対する5段階の判断に、それぞれ以下の点数を与え、この点数で回答結果の構成比(%)を加重平均して、D I を算出した。

評価	良くなっている (良い)	やや良くなっている (やや良い)	変わらない (どちらとも言えない)	やや悪くなっている (やや悪い)	悪くなっている (悪い)
点数	+ 1	+ 0 . 7 5	+ 0 . 5	+ 0 . 2 5	0

概 要

1. 景気の現状に対する判断

3か月前と比較しての景気の現状に対する判断は、以下のとおりであった。

図表A 全国における景気の現状判断D I
(D I) 平成12年

	4月	5月	6月
合計	55.2	50.2	50.1
家計動向関連	52.9	47.4	48.2
企業動向関連	59.4	57.4	51.7
雇用関連	65.0	56.4	62.5

図表B 各地域における景気の現状判断D I
(D I) 平成12年

	4月	5月	6月
全国	55.2	50.2	50.1
北海道	44.0	43.3	49.5
東北	56.2	50.8	48.2
関東	55.7	50.3	50.0
東海	58.2	56.6	54.1
近畿	58.1	47.1	48.6
九州	59.7	53.2	50.0

2. 景気の先行きに対する判断

2～3か月先の景気の先行きに対する判断は、以下のとおりであった。

図表C 全国における景気の先行き判断D I
(D I) 平成12年

	4月	5月	6月
合計	55.5	54.2	54.8
家計動向関連	53.5	52.7	53.5
企業動向関連	58.5	56.5	57.1
雇用関連	66.1	61.7	60.4

図表D 各地域における景気の先行き判断D I
(D I) 平成12年

	4月	5月	6月
全国	55.5	54.2	54.8
北海道	46.0	50.0	55.5
東北	57.2	54.6	52.1
関東	57.2	55.4	53.2
東海	59.7	58.6	57.9
近畿	57.5	54.2	57.1
九州	55.6	52.7	52.9

1. 景気の現状に対する判断

3か月前と比較しての景気の現状に対する判断は、以下のとおりであった。

(1) 全国の動向

分野別の景気の現状判断D I

図表1-1-1 各分野における景気の現状判断D Iの推移表

(D I)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
合計	45.3	48.6	55.2	55.2	50.2	50.1
家計動向関連	43.4	47.0	53.3	52.9	47.4	48.2
小売関連	42.7	48.1	51.9	51.2	44.4	47.8
飲食関連	44.0	40.8	54.3	48.3	44.6	42.9
サービス関連	44.3	47.3	55.1	57.0	51.1	50.4
企業動向関連	45.8	49.1	57.0	59.4	57.4	51.7
雇用関連	58.9	60.7	66.7	65.0	56.4	62.5

(備考) 1月は関東を除く5地域の合計。

(2) 各地域の動向

地域別の景気の現状判断D I (各分野計)

図表1-2-1 各地域における景気の現状判断D Iの推移表 (各分野計)

(D I)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全国	45.3	48.6	55.2	55.2	50.2	50.1
北海道	45.3	47.0	51.5	44.0	43.3	49.5
東北	42.3	46.8	54.1	56.2	50.8	48.2
関東		47.0	53.8	55.7	50.3	50.0
東海	51.8	53.8	59.8	58.2	56.6	54.1
近畿	43.3	48.2	53.1	58.1	47.1	48.6
九州	42.9	48.7	58.7	59.7	53.2	50.0

地域別の景気の現状判断D I (家計動向関連)

図表1-2-2 各地域における景気の現状判断D Iの推移表 (家計動向関連)

(D I)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全国	43.4	47.0	53.3	52.9	47.4	48.2
北海道	43.4	46.1	50.3	40.3	39.6	49.0
東北	39.0	44.9	52.5	54.6	46.5	45.7
関東		46.6	51.5	55.1	48.9	48.9
東海	50.7	51.4	57.5	54.9	57.3	52.8
近畿	41.7	46.5	52.3	56.7	43.4	45.5
九州	41.2	46.4	55.6	56.8	48.5	46.7

(3) 景気の現状に対する判断理由

景気の現状に対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

北海道

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	商店街（代表者）	・夏日が続き、夏物衣料の売上が伸びている。
		百貨店（売場主任）	・生活必需品関連の売上、来客数の伸び率が高くなっている。特に、婦人服等の服飾を中心としたファッション関連の動きが良い。 ・有珠山噴火の影響が和らぎ、交通網も復旧しており、観光客も増加してきている。
		コンビニ（エリア担当）	・天候が良くなり、少しずつ売上が伸びている。
		コンビニ（エリア担当）	・今月は天候に恵まれたせいで、売上が増加している。
		家電量販店（店員）	・パソコン、エアコンがよく売れている。ただし、全体的にみると、売上はあまり伸びていない。
		乗用車販売店（従業員）	・来客数が増加してきている。
		乗用車販売店（従業員）	・当社の実績は良くないが、地域内での自動車販売台数が前年並みに回復してきている。
		高級レストラン（スタッフ）	・これまで減少してきた来客数が増加してきている。
		一般レストラン（スタッフ）	・来客数、売上の伸び率が少しずつ上がってきている。
		旅行代理店（従業員）	・有珠山噴火、航空運賃改変、総選挙のトリプルパンチを懸念した今月だが、個人需要は堅調であった。一方で、法人需要は相変わらず低調である。
		美容室（経営者）	・客の会話の中で、レジャー支出が増えているような会話が多くなっている。
	変わらない	商店街（代表者）	・衣料関係では毎月いろいろなイベントをやっている。イベントのときは客は金を持っているのに、普段は使わない傾向にある。
		百貨店（売場主任）	・イベント、セールなどの客の入りが悪く、店全体の来客数が前年同月より減少し、売上も紳士、子供、食品などで苦戦している。
		スーパー（企画担当）	・客単価が上昇せず、一品単価の低下傾向が続いている。
		スーパー（店長）	・先月同様、客数は前年同月並みだが、一人当たり購入金額の低下が続いている。
		コンビニ（エリア担当）	・客は必要以上の商品や量を買わず、買いためしない傾向がみられる。客の財布のひもが固く、安いものや必要なものだけを買う傾向が続いている。
		家電量販店（店長）	・依然として必需品しか売れていない。客に余裕がないように感じる。
		家電量販店（店長）	・6月は小学校の運動会があるため、カメラが売れたのが目立ったが、相変わらず大型商品が動いていない。
		その他飲食[酒卸]（店長）	・3か月前と比べて、天候が良くなっているので、人は出ているが、売上に変化がみられない。
旅行代理店（従業員）		・地元空港の発着人員が横ばいである。	
タクシー運転手	・6月も引き続き、タクシーの実車率、利用客数が昨年と比べ減少傾向が続いている。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由	
		タクシー運転手	・自分は例年並みに仕事が入るが、他のタクシー運転手などに話を聞くと、売上が低下して大変だということである。	
		美容室（経営者）	・天候が良かったので、若干の客数の伸びはあったが、あまり売上増加につながっていない。客単価も上がっていない。	
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	・6月に入ってから、更に売上の落ち込みが続いている。今月の後半は少し持ち直したが、全体としては厳しい状況が続いている。	
		百貨店（売場主任）	・夏のボーナスが非常に低下しているためか、紳士物の動きが悪い。単品買いになっているし、単価も低い。	
		スーパー（企画担当）	・買上点数、一点単価ともに減少している。3か月前と比較すると、客の購買態度はいっそう厳しくなっている。特に紳士、婦人服が厳しい。	
		スーパー（店長）	・客の消費動向が、必要な物しか買わない、安い物しか買わない、という傾向が強まっている。	
		衣料品専門店（店長）	・今月は選挙があり、衣料品の売上が非常に悪い。	
		自動車備品販売店（店長）	・高額商品であるオーディオ、ナビゲーションの動きが相当鈍くなっている。来客状況も良くない。	
		高級レストラン（スタッフ）	・有珠山の影響で、本州からのツアーは催行中止、また、選挙期間中であったため、地元接待客も大きく減少している。	
		スナック（経営者）	・選挙があり、来客数がとても少ない。	
		タクシー運転手	・日中の乗客の乗り控えとともに、総選挙の影響も大きく出ている。	
		住宅販売会社（従業員）	・住宅産業では、受注が前年を少し下回っている。	
	悪くなっている	商店街（代表者）	・地下街の売上も厳しいし、流通業界全体の売上をみていて、非常に悪くなっている。	
		高級レストラン（経営者）	・有珠山噴火で、観光客が激減している。選挙中で、消費が非常に鈍っている。	
		スナック（経営者）	・今月に入り、衆議院解散から総選挙にかけて、ぱったりと客足が途絶えて、悪い状態が続いている。	
		スナック（経営者）	・国家公務員倫理法の制定や総選挙によって、人が街に出てこない。宴会がかなり減っている。	
		観光型ホテル（役員）	・洞爺湖は有珠山噴火のため休業しているが、登別はようやく風評被害から脱して上向いている。定山溪は依然として好調である。	
	企業動向関連	良くなっている	-	-
		やや良くなっている	非製造業[建設機械リース]（営業担当）	・期待したほどではないが、全体的には良い方向に向かっている。
			輸送業（総務担当）	・荷動きが良くなっている。また、設備投資の動きもあるので、景気がやや良くなっている。
司法書士			・不動産の売買件数が増加してきている。	
変わらない		非製造会社[建設機械リース]（従業員）	・3か月前と比較して客の購買意欲はほとんど変わっていない。	
		広告代理店（従業員）	・よさこい、北海道神宮祭り、総選挙と、イベントが目白押しで、広告業は好調である。	
		司法書士	・不動産取引に関連する不動産投資意欲が依然として低調である。	
やや悪くなっている		食料品製造業（団体役員）	・業界企業の廃業、倒産が増加しており、製造出荷量が減少している。 ・低価格輸入品により国内企業は大きな影響を受けており、対抗できない。	
		非製造業[建設機械レンタル]（総務担当）	・機械関連の動きが止まっている。入札談合問題や、選挙が要因である。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		輸送業（支店長）	・当月に入り、業界全体をみて、引き合いや商談に停滞感が出てきている。
	悪くなっている	非製造業[建設機械リース]（支店長）	・手形の書換えが発生している。来客状況は良いが、客単価が下がっている。
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	・昨年5月から求人数が増加しており、今月に入っても伸び続けている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・求人の広告件数が増加している。 ・建設業はやや増加程度だが、製造業、貨物、飲食等、ほとんどの業種で大きく伸びている。
		新聞社[求人広告]（担当者）	・業種によっては悪いところもあるが、総体的には、良くなっている。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・相変わらず、正社員の欠員の後に派遣スタッフという依頼はあるが、これは景気回復の要因にはならない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・求人募集広告の出稿状況は業界によってばらつきがある。スナック・クラブ、土木・建築は総じて減少している。
	やや悪くなっている	-	-
悪くなっている	-	-	

東北

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	家電量販店（総務担当）	・エアコンや除湿器、冷蔵庫の売上が好調である。
	やや良くなっている	商店街（代表者）	・客数が増加しており、購買意欲が徐々に上向いている。
		百貨店（売場主任）	・紳士衣料は変わらないものの、ミセス層が自分の物を買うようになってきている。
		衣料品専門店（店長）	・スーツや礼服といった高額商品がようやく売れるようになってきている。
		インテリア専門店（統括）	・来客数が前月同様、増加している。
		乗用車販売店（従業員）	・軽自動車の販売が好調である。
		テーマパーク（職員）	・利用客の予約が順調である。
		タクシー運転手	・以前のように2時間も空車で走ることがなくなっている。 ・タクシーチケットの利用が増加している。
		住宅販売会社（経営者）	・久しぶりに住宅受注が増加し、取引先の業者も若干良くなっている。
	変わらない	百貨店（総務担当）	・客単価が上がらず、特に、紳士服関係がなかなか売れない。
		百貨店（売場主任）	・来客数は回復基調にあるが、買上客数が来客数の伸びに一致しておらず、売上増加につながらない。
		百貨店（企画担当）	・客数が前年比80%台で推移している。
		スーパー（企画担当）	・客は必要な分だけ購入する傾向にあり、高額商品が売れず、単価の低下傾向が続いている。
		衣料品専門店（経営者）	・衣替えの制服をキャンセルする企業が多く、購入も必要最小限とする傾向にある。
		高級レストラン（スタッフ）	・家族連れや女性客は回復傾向にあるが、相変わらず法人需要が少ない。
高級レストラン（スタッフ）		・イベント効果から売上が伸びているが、単価が低く、利益につながらない。	
観光型ホテル（経営者）	・従来、選挙の月は、入込数、売上とも悪いが、今月は入込数が1割減少したものの、売上は例年並みとなった。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		観光型ホテル（スタッフ）	・予約状況が3か月前のレベルに戻っている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・客数や結婚式の件数に変化がない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・これまでみられた利用客の増加傾向が止まっており、消費単価も低下傾向にある。
		美容室（経営者）	・ボーナス時期なのに、売上が伸び悩んでいる。
	やや悪くなっている	百貨店（企画担当）	・選挙の影響から消費動向が止まっている。
		スーパー（従業員）	・客数が減少傾向にある。
		スーパー（店長）	・2～3か月前までみられた客数の増加が止まっており、また、客単価は依然として前年割れが続いている。
		コンビニ（エリア担当）	・キャンペーンなどの販売促進の効果がなくなっており、客単価も低下している。
		インテリア専門店（店長）	・来客数が減少し、単価も低下しており、売上増につながらない。
		観光型ホテル（経営者）	・売上の減少傾向が続いており、特に今月は前年を大きく下回っている。
		住宅販売会社（従業員）	・6月は選挙のせい、客の動向が悪い。
	悪くなっている	スーパー（企画担当）	・売上が伸びないため、人件費をかけてもうけにならない時間延長販売を行ったり、他社と競合してチラシを出したりという状況になっている。 ・同業の主力企業も、売上は軒並み前年割れとなっている。
		乗用車販売店（経営者）	・来客が全くなく、今月の販売台数はほとんどゼロに近い。
		一般レストラン（経営者）	・4、5月は前年比5%程度の落ち込みだったが、6月に入り売上が急に落ち込んでいる。 ・客数は変わらないが、客単価が低下している。
スナック（経営者）		・4月までは良かったが、常連客が異動したせい、5、6月は非常に悪い。	
企業動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	電気機械器具製造業（従業員）	・パソコン向け部品の生産が増加している。
		広告代理店（従業員）	・広告の投稿量が増加している。
	変わらない	木材木製品製造業（経営者）	・住宅向け需要増がみられたものの、価格面では厳しい状況が続いている。
		電気機械器具製造業（従業員）	・話はあるが、具体的な受注につながらない。
		広告代理店（従業員）	・受注のペースに大きな変化はない。
		輸送業〔航空貨物〕（従業員）	・貨物の取扱量に大きな変化がない。
	やや悪くなっている	食料品製造業（経営者）	・選挙や公務員倫理規程等の影響で、取引先の飲食関係は厳しさを増している。
		食料品製造業（従業員）	・5月下旬から6月中旬にかけて、予想以上に出荷・販売が減少している。
		食料品製造業（従業員）	・選挙の影響か、出荷・販売とも伸び悩んでいる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・半導体設備関係の部品加工が増加傾向にあるものの、組立受注は減少傾向にある。
悪くなっている	-	-	
雇用関連	良くなっている	人材派遣会社（社員）	・求人依頼が、かなり安定的に入ってきている。
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・大きな仕事が増えてきている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・求人広告が回復基調にある。
変わらない	人材派遣会社（社員）	・勤務曜日・時間の規制が大幅緩和となり、その影響で受注が増加したが、実質的な需要増までには至っていない。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
	やや悪くなっている	アウトソーシング企業（社員）	・IT関連は伸びているが、その分減少している業界もあり、全体的には悪くなっている。
	悪くなっている	-	-

関東

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計動向 関連	良くなっている		
	やや良くなっている	衣料品専門店（統括）	・客の買上点数が増加している。 ・1人当たり、1品当たりの単価も若干上昇している。
		家電量販店（店長）	・パソコン関係が好調なのに加え、今年の夏は比較的湿度も高く、梅雨でも気温がさほど下がらないので、季節関係が非常によく売れている。
		一般レストラン（支配人）	・客数、客単価が徐々に上昇しつつある。
		スナック（経営者）	・新規の客が増えてきた。
		旅行代理店（従業員）	・2か月前と比べて、客の購買意欲が高まっている。
		その他サービス[語学学校]（営業担当）	・客数は変わらないが、個人の高額契約が増加している。景気が良い業種の客が確実に増加している。
		その他サービス[フィットネスクラブ]（支配人）	・客の消費意欲の高まりが、売上高によって確認できる。
	変わらない	一般小売店[精肉]（従業員）	・ギフト商品が売れ出す時期だが、今年はまだはっきりとした動きがない。
		百貨店（販売促進担当）	・6月は昨年より雨天が4日多く、春に爆発的人气だったデニムのようなヒット商品もなかった。また、中元ギフトの売上や父の日セールで客単価が低下するなど、一般消費は低調である。
		百貨店（売場主任）	・秋冬物は比較的健闘していたが、付加価値がつけにくい春夏物に関しては、他の業態との差別化がはかりにくいいため、苦戦している。 ・中元も苦戦しており、明るい兆しはみられない。
		スーパー（統括）	・客数は増加しているが、客単価、買上点数、商品1点当たりの単価が低下しているため、売上全体では変わらない。
		スーパー（店長）	・3か月前の客数と比較しても、悪い状態で変わらない。客単価も92%と現在とほとんど変わらず、景気は悪い状態のまま変わらない。
		高級レストラン（経営者）	・売上はそれほど変わっておらず、周りの状況を見ても良くなる材料がない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宴会、宿泊の需要は特に変わっていない。
		その他レジャー施設[アミューズメント]（職員）	・売上、客数が増加していない。
		その他レジャー施設[アミューズメント]（職員）	・ホームページ上で客から寄せられる電子メール等の意見で、余暇が取れないため来場につながらないという回答が数多く寄せられている。
		タクシー運転手	・売上は伸び悩んでいる。ただし、金曜日の売上は多少増加している。
		その他サービス[学習塾]（経営者）	・去年より単価を下げないと、同じ客は申し込んでくれない。
		住宅販売会社（従業員）	・展示場への来場数の増加、減少ともに見受けられない。状況はそれほど変わっていない。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	・梅雨入り後の天候の悪化で、平日は中心街を訪れる客、街の人通りが、全くないという状況である。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		乗用車販売店（従業員）	・他社あるいは他店舗の商品と比較している人が多く、なかなか受注に結びつかない。
		高級レストラン（支配人）	・食堂部門の売上、利用客数、単価は横ばい状態である。 ・宴会部門は受注が低迷している。 ・以前から当店を利用している株主総会のうち3件は、経費削減のため自社ビル内で開催した。 ・料理の単価も低下している。
		ゴルフ場（支配人）	・ゴルフ場のプレー代金はますます割引が進んでいる。 ・地元会員の会社が2件倒産しており、7～9月の予約が非常に不安である。
		旅行代理店（従業員）	・見積件数、問い合わせ件数が極端に減少している。 ・団体旅行の受注件数も少ない。
		その他サービス[学習塾]（経営者）	・昨年に比べて入塾希望者が減少している。
	悪くなっている	百貨店（買付担当）	・20代のヤングゾーンでは、平日の売上が先月よりも多少戻ってきたのに対し、週末は土曜日の天気が悪かった影響で売上は増加していない。 ・客はTシャツなど安いものしか購入せず、まとめ買いも少ない。 ・1品単価、客単価ともに低下している。 ・ミセス層の売上は好調である。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	精密機械器具製造業（経営者）	・規格部門はやや良くなっている。特に旋盤仕事の工場などで、既に手一杯のところもある。ただし、技術力がないところは暇なところが多く、取引先によって繁閑の差が激しい。
		輸送業（統括）	・実車率が良くなっている。
		その他企業[情報サービス]（従業員）	・客の設備投資について、若干改善の動きが出てきている。見積件数も増えている。
	変わらない	その他企業[物品リース]（従業員）	・大きな設備投資は少ないが、設備投資を控えていた会社が徐々に更新などを行うようになってきている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・業況は1、2か月好調だったが、ここに来て上昇ペースは足踏み状態である。
		その他製造業[プラスチック製品]（経営者）	・問い合わせ件数は増えているが、受注量は横ばいである。
		広告代理店（従業員）	・仕事量、売上はほとんど変わっていない。
	その他企業[情報サービス]（従業員）	・引き合いが増えて対応できない状況であり、景気の良い状態が続いている。	
	やや悪くなっている		
悪くなっている			
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・4月から求人数が増加している。 ・企業の求人意欲が強く、景気は回復しつつある。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・販売員に対する派遣需要は、良好商品、中元商品などの売場で活発だが、それ以外では振るわず横ばい状態である。
		人材派遣会社（社員）	・合併や統合による人員削減が行われる一方で、IT分野などでは雇用の拡大があり、二極化が見受けられる。
	やや悪くなっている		
	悪くなっている	-	-

東海

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	百貨店（販売促進担当）	・紳士服が動き出し、中元ギフトもますますの成績で動いている。
		百貨店（売場主任）	・一般衣料その他はまだ低迷しているが、高額品等一部の商品に動きが出始めている。
		スーパー（店長）	・客の買上点数が増加し、衝動買いも増加してきている。
		スーパー（店長）	・客数の増加とともに客単価、買上点数も上昇増加傾向にあり、食料品は依然好調で推移している。
		乗用車販売店（従業員）	・受注状況が良い。
		高級レストラン（スタッフ）	・法人客がその後個人客としてリピート利用してくれるケースが増加している。
		一般レストラン（スタッフ）	・客が店内にいる時間が長くなり、客単価も上昇している。
		スナック（経営者）	・客の間でここ2、3年、ボーナスの話題が出なかったが、今年は少し上がったという明るい話が出ている。
		スナック（経営者）	・忙しい日と暇な日の売上の差が激しいが、忙しい日は人通りも多い。
		観光型ホテル（スタッフ）	・宿泊・宴会の利用が全体で対前年比3～4%増加してきている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宴会場の問い合わせが少しずつ多くなってきている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・2000年の6月ということで、婚礼の件数が対前年比で2倍あった。
		パチンコ店（店長）	・少しずつ個々の消費金額、稼働金額が伸びている。
		美容室（経営者）	・客の話や様子では、前回の賞与に比べて今回の賞与ではかなりゆとりを持っているようである。
		住宅販売会社（従業員）	・所得や資金の少ない人も動き出している。消費意欲がアップしている。
		変わらない	一般小売店[生花]（経営者）
	一般小売店[土産]（経営者）		・客単価は依然として低い一方で、来店客数は増加している。
	百貨店（販売促進担当）		・需要が分散していて、消費が全体的に上昇しているとは考えにくい。
	スーパー（店長）		・客の買物状況をみていると、贈答品の単価や件数を減らすことが続いている。
	スーパー（店長）		・選挙でギフト関係の需要が落ちている。
	コンビニ（店長）		・客単価が上がらず売上が停滞気味である。
	乗用車販売店（従業員）		・やや良くなったと思っても長続きしない状況が続いている。
	テーマパーク（職員）		・6月は週末の天候が悪く、客の動きが鈍かった。
	旅行代理店（従業員）		・最近6か月は徐々に上向き傾向にあり、3か月前と比較するとさほど変わった様子はない。
	タクシー運転手		・営業回数、深夜の仕事に上昇の兆しがみられない。名古屋駅ビルのホテル利用客が増えていることだけが好材料になっている。
	タクシー運転手		・6月は天候不順でタクシー利用者が多く、忙しかったが、4月と比較するとあまり変わっていない。
	タクシー運転手	・夜の繁華街で人がいても乗車してもらえず、空車の数がなかなか減らない状況が続いている。	
	やや悪くなっている	百貨店（企画担当）	・来客数、客単価とともに大きく前年を下回り、特に現金での買上が激減している。
		百貨店（売場主任）	・先月に引き続き来客数は大幅に減少しており、当初期待していた中元商戦も非常に悪い状況にある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		スーパー（店長）	・6月は雨の日が多く、来客数の減少が顕著に現れている。
		コンビニ（エリア担当）	・雑貨を中心に低迷していたが、食品についても売上が減少している。
		家電量販店（店員）	・ボーナスシーズンの需要期ではあるが、高額商品が3か月前、1年前と比べて売れていない。
		乗用車販売店（経営者）	・需要期にもかかわらず来客数が増加せず、購入行動がより慎重になり、平均単価、予算が低下している。
		乗用車販売店（従業員）	・売上ベースで考えると、やはり2、3か月前と比べて落ち込みが激しい。
		一般レストラン（スタッフ）	・毎年ゴールデンウィーク後には売上が落ちているが、今年の落ち込み方は今までにない落ち込み方である。
		テーマパーク（職員）	・ゴールデンウィークを平均レベルで楽しんだ後の、経済的な余力があまり感じられない。
		ゴルフ場（経営者）	・値引き競争はますます激しくなっているが、来場者数は全く増加していない。
	悪くなっている	-	-
企業動向 関連	良くなっている	税理士	・全体的に、大会社を始めとして、中小企業も景気が良い。
	やや良くなっている	電気機械器具製造業（営業担当）	・見積の引き合いが次第に多くなっている。
	変わらない	輸送業（エリア担当）	・毎年この時期は企業を中心とした引っ越しの需要が発生するが、今年是对前年比70%程度で企業の転勤控えがうかがえる。
		輸送業（エリア担当）	・半導体関係、ハイテク関係の貨物量は非常に伸びているが、その他の特に医療関係、商社関係等の貨物量が伸び悩んでいる。
		経営コンサルタント	・法務局での問い合わせや人数がそれほど増加していない。
	やや悪くなっている	食料品製造業（企画担当）	・し好品の販売状況がやや不振である。
悪くなっている	-	-	
雇用 関連	良くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	・採用の面で、3か月前に比べて、大手企業だけでなく中小企業の景気回復も感じられる。
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	・通信業界や金融業界及び一部のサービス業で非常に活発な動きが見受けられる。
		新聞社[求人広告]（担当者）	・6月に入り再び雇用が回復し、特に建設業や製造業、アウトソーシングを中心に雇用が増加している。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・IT関連の一部の雇用は良いが、全体的にはほとんど傾向は変わっていない。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	・3か月前に比べて派遣の需要が少しとまり、取引先からも仕事が減少しているといった話をよく聞く。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・自動車関連を除き全般的に下降している。特に最近では中高年の求職相談が目立ってきている。
	悪くなっている	-	-

近畿

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	乗用車販売店（営業担当）	・来客数が徐々に増加している。
		乗用車販売店（営業担当）	・販売台数が増加している。
		一般レストラン（スタッフ）	・予約件数は増加していないが、前向きな問い合わせ等が増加している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		旅行代理店（営業担当）	・毎月、客数が増加しており、予約も前年を上回る分野が出てきている。
		タクシー運転手	・入社5、6年目とみられるサラリーマンの深夜の乗車が増加している。 ・タクシーチケットやクレジットカードの利用が増加している。
		タクシー運転手	・街中を回ると客が立っていることが多くなってきた。
		美容室（経営者）	・業界にもよるが、客からボーナスが出た話や、海外旅行の話も少し聞かれるようになってきている。 ・来店サイクルが今までよりは上がっている。
		その他住宅[情報誌]（編集者）	・住宅の売行きが比較的順調に推移している。
		その他住宅[展示場]（従業員）	・住宅展示場の来場者数が増加している。
	変わらない	商店街（代表者）	・前半久しぶりに客数が増加し、商店街の売上も伸びたが、中ごろから客数が減少し変わらなくなっている。
		百貨店（売場主任）	・紳士服は全般的に苦戦状況である。特にヤングが低迷している。婦人服はまずまず順調に推移している。
		百貨店（売場主任）	・前年割れの傾向が続いている。
		スーパー（経理担当）	・既存店の売上前年比が悪い状況は変わらない。
		スーパー（経理担当）	・買上点数が依然増加しない。 ・客は安い店を探している状況が続いている。
		コンビニ（店長）	・客は考えながら買物をしており、客単価は低いままである。
		その他専門店[時計]（経営者）	・購買意欲はかなり高まっており、良い方向に向かっているが、3か月の差で目に見えて購買を増加させているというにはまだ無理があり、3か月前とあまり変わらない。
		一般レストラン（スタッフ）	・売上が変わらない。
		観光型旅館（経営者）	・釣り人口が増加し、客数も伸びているが、食事や土産物の客単価は上昇していない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・春先と比べ、宿泊・宴会ともあまり変化がない。
都市型ホテル（スタッフ）		・客数は安定しているが、相変わらず客単価は低い状態で、勢いはまだ感じられない。	
観光名所（経理担当）		・売上が横ばいである。	
住宅販売会社（営業担当）	・3か月前と比べて引き合いは変わっていない。		
やや悪くなっている	スーパー（経理担当）	・買上個数が増加せず、嗜好品の動きが鈍い。消費者は安さだけを求めている状態である。	
	コンビニ（エリア担当）	・既存店の1日当たりの平均販売額が減少している。	
	家電量販店（店員）	・客数が減少している。	
	自動車備品販売店（営業担当）	・3か月前より20%以上売上が減少している。	
	一般レストラン（スタッフ）	・淡路花博等の効果はあまり大きく現れず、飲食関係の需要が伸びていない。 ・いったんみられた回復基調にやや陰りがうかがわれる。	
	スナック（経営者）	・望みの持てる公務員のボーナス時期であるにもかかわらず、全く動きがみられない。 ・梅雨による影響もみられる。	
	競輪場（職員）	・入場者数、客単価ともこの3か月間で最悪である。	
	住宅販売会社（従業員）	・展示場の来場者数が3か月前よりやや減少している。	
悪くなっている	商店街（代表者）	・人通りが少なく、売上が伸びない。	
	その他専門店[宝石]（経営者）	・来客数、広告に対する反応、ローンの審査結果などがますます悪化している。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由	
		その他専門店[薬] (経営者)	・買上点数が減少し、関連商品でも必要でなければ購入しない。	
		競輪場(職員)	・客の高齢化による購入額の低下などによって売上額が落ち込んでいる。	
		美容室(店長)	・予約が入らない。	
企業 動向 関連	良くなっている	広告代理店(従業員)	・マンションの分譲が阪神間で相次ぎ、チラシ、パンフレットなどの広告料の増加につながっている。	
		会計事務所(職員)	・全般的にうみ出しが終わり、これから前向きに改善していく雰囲気は漂っている。	
	やや良くなっている	一般機械器具製造業 (経営者)	・受注残が増加している。	
		電気機械器具製造業 (経営者)	・引き合いが受注につながる傾向が出てきている。	
		経営コンサルタント	・注文が2割ほど増加している。 ・各業種の得意先でも受注が増加している様子がみられる。	
	変わらない	一般機械器具製造業 (経営者)	・引き合い、受注ともまだまだ低調である。	
		その他製造業[金属製品] (経営者)	・新しい引き合いが少し出てきているが、あまり変化はない。	
		その他製造業[紙加工品] (経営者)	・受注の状況に変化がない。	
		広告代理店(営業担当)	・広告の引き合い等は悪くはないが、一時のような伸びはなく、やや停滞している。	
		輸送業(営業所長)	・物流はあまり動いていない。	
		司法書士	・企業のリストラを目的にした依頼が依然目立つが、今月は新たに事業を興す内容のものもあった。	
		その他企業[ネジ] (団体役員)	・生産数量は横ばいである。	
	やや悪くなっている	繊維工業(経営者)	・販売先の状況がやや悪化しており、現在抱えている受注もやや減少している。	
		電気機械器具製造業 (経営者)	・取引先など周囲の景気変動の影響により、やや悪化している。	
	悪くなっている	繊維工業(経営者)	・企業信用の悪化のうわさが多く、プラスの話が少ないため、商売について前向きに取り組むより、保守的になる経営者が多い。	
		その他企業[ゴム製プラスチック製履物] (団体役員)	・出荷が減少している。	
	雇用 関連	良くなっている	人材派遣会社(社員)	・正社員のリストラ傾向が一段落し、景気の先行現象として派遣社員を増員する企業が増加している。
			求人情報誌制作会社 (編集者)	・求人マーケット全体の動向は前年比20.6%増と高い伸びを示している。
やや良くなっている		人材派遣会社(経営者)	・派遣依頼件数が大幅な増加で推移している。	
		人材派遣会社(社員)	・求人活動が活発になっている。	
変わらない		人材派遣会社(経営者)	・6月は4～6月期の期末であるため、7月以降の受注が出てきているが、6月末で終わるものもかなりあり、全体としては横ばいである。	
やや悪くなっている		アウトソーシング企業 (経理担当)	・得意先数があまり変わらず、手間がかかるところが多く、コスト高になる。	
悪くなっている		-	-	

九州

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由	
家計 動向 関連	良くなっている			
	やや良くなっている	インテリア専門店(従業員)	・売上が前年比で2ケタの伸びとなっている。	
		家電量販店(店員)	・冬のボーナスの時期ほど悪い話を聞かなくなったので、少しは良くなってきた。	
		テーマパーク(職員)	・週末の雨が影響しているが、全体的には上り調子である。	
		パチンコ店(従業員)	・売上や客数が増加しており、やや改善されている。	
		タクシー運転手	・先月あたりから少しずつ良くなってきている。	
		タクシー運転手	・長距離の利用が増えてきている。	
		住宅販売会社(従業員)	・アンケート入手や問い合わせも増加している。	
	変わらない	商店街(代表者)	・中高年齢層の買物は上向しているが、若者、ファミリー向けが回復していない。	
		商店街(代表者)	・ボーナス時期ではあるが、介護保険の負担の増加等により、購買意欲が低下している。	
		スーパー(店長)	・ファッション関連に陰りが出ているが、IT関連が好調なため、全体としては変わらない。	
		スーパー(店長)	・父の日のイベントは良かったが、月間を通してみると好調とはいえない。	
		スーパー(店長)	・特売品等は売れるが定番商品は出ない。客単価も低下したままである。	
		家電量販店(店長)	・パソコンを中心とする情報家電は好調だが、それ以外の商品は単価が低下傾向にあり、非常に厳しい。	
		スナック(経営者)	・雨が続き客は少なかったが、会社の異動の時期なので少しカバーすることができて、売上に大きな変化はない。	
		ゴルフ場(支配人)	・客の財布のひもは堅く、入場者数も変わらない。	
		旅行代理店(従業員)	・選挙で人の動きが鈍いうえに、法人は旅行の延期や中止が多く、個人客は安近短志向が強まっている。	
		タクシー運転手	・イベントがあったにもかかわらず、変わらない。	
		住宅販売会社(従業員)	・建て売りが売れない。モデルハウスの来客数も少ない。	
		住宅販売会社(従業員)	・契約数は増加したが、展示場の来場数が減少している。	
	やや悪くなっている	百貨店(販売促進担当)	・一品単価も低下傾向にあり、顧客の価格に対する見方は極めて厳しい。 ・選挙の影響か、法人受注も出足が不調であり、個人消費は相変わらず浮上の兆しがみられない。	
		コンビニ(エリア担当)	・客単価も下がってきており、出費を必要最低限に抑えている。	
		競輪場(職員)	・ボーナス前ということもあるが、競輪競艇ともに悪い。	
	悪くなっている	一般小売店[精肉](経営者)	・選挙があったため、街もにぎわいが無い。	
		一般レストラン(経営者)	・選挙の影響や、サミットによる交通規制のため、客足が遠のいている。	
	企業 動向 関連	良くなっている	電気機械器具製造業(経営者)	・過去1年間で最高の売上となっている。
			精密機械器具製造業(経営者)	・現在、注文が非常に増加している。
やや良くなっている		食料品製造業(経営者)	・売上が前年比130%に達し、何かが違う感じを受ける。	
		輸送用機械器具製造業(経営者)	・受注量が非常に増えてきており、外注先も高操業のため、仕事を振りにくくなっている。	
		輸送業(従業員)	・日によってばらつきはあるものの、良い方向に向かっている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
	変わらない	電気機械器具製造業（経営者）	・半導体関連はむらがあり、先行きは不透明であるが、平均的には横ばいである。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	・通常の受注状況で稼働しているので、変わらない。
		広告代理店（従業員）	・選挙があったため、売上が減少している。
		広告代理店（従業員）	・やや良くなっている状態が持続している。
	やや悪くなっている	農林水産業（経営者）	・スーパー向け商品は好調だが、加工メーカー筋は伸び悩んでおり、在庫負担に頭を痛めている。
		輸送業〔陸上貨物〕（従業員）	・受注件数、売上ともに減っている。 ・コンテナヤード（荷物を出し入れする場所）も混雑していない。
悪くなっている	-	-	
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・中小企業を中心として、雇用が改善しつつある。
		人材派遣会社（社員）	・法人、個人の客の問い合わせが増加し、売上も若干伸びてきている。
		人材派遣会社（社員）	・長期事務員の派遣が増えている。
	変わらない	求人情報誌制作会社（編集者）	・人材派遣が多くなっているが、企業の積極的な雇用がまだみられない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・広告は調子が良く、全体的に上向いている。
	やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・求人は増加しているが、世の中全体がまだ明るい感じがしない。
	悪くなっている	-	-

2. 景気の先行きに対する判断

2～3か月先の景気の先行きに対する判断は、以下のとおりであった。

(1) 全国の動向

分野別の景気の先行き判断D I

図表2-1-1 各分野における景気の先行き判断D Iの推移表

(D I)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
合計	51.1	54.6	54.9	55.5	54.2	54.8
家計動向関連	49.4	53.2	53.8	53.5	52.7	53.5
小売関連	49.7	52.7	53.3	53.1	49.2	51.8
飲食関連	45.8	53.1	52.6	52.2	56.7	54.5
サービス関連	50.9	54.0	54.9	53.9	55.7	55.0
企業動向関連	52.3	55.8	53.8	58.5	56.5	57.1
雇用関連	61.9	62.8	67.2	66.1	61.7	60.4

(備考) 1月は関東を除く5地域の合計。

(2) 各地域の動向

地域別の景気の先行き判断D I (各分野計)

図表2-2-1 各地域における景気の先行き判断D Iの推移表 (各分野計)

(D I)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全国	51.1	54.6	54.9	55.5	54.2	54.8
北海道	49.0	53.5	52.0	46.0	50.0	55.5
東北	51.6	56.0	54.6	57.2	54.6	52.1
関東		53.5	52.5	57.2	55.4	53.2
東海	54.5	54.1	60.3	59.7	58.6	57.9
近畿	51.1	54.7	54.4	57.5	54.2	57.1
九州	49.2	55.5	55.3	55.6	52.7	52.9

地域別の景気の先行き判断D I (家計動向関連)

図表2-2-2 各地域における景気の先行き判断D Iの推移表 (家計動向関連)

(D I)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全国	49.4	53.2	53.8	53.5	52.7	53.5
北海道	46.2	51.1	50.0	42.7	48.3	54.9
東北	50.4	53.4	53.5	54.6	51.8	49.6
関東		51.1	50.8	57.2	54.5	51.9
東海	53.4	53.5	59.2	56.6	57.3	57.3
近畿	48.8	53.8	54.2	56.7	53.1	54.1
九州	48.2	56.5	54.5	53.4	51.5	52.9

(3) 景気の先行きに対する判断理由

景気の先行きに対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

北海道

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている。	一般小売店[土産](店員)	・有珠山噴火の風評被害が徐々に和らぎ、団体旅行客が増加してきている。
		コンビニ(エリア担当)	・店でパート募集をかけても集まりが悪くなってきた。景気が良くなってきているためと考えられる。
		家電量販店(店員)	・いまだに一品単価が低い、オリンピックの開催、猛暑によるエアコン販売の好調が予想されるなど、売上増加の要素がある。
		高級レストラン(スタッフ)	・有珠山噴火の影響が薄れ、観光客が増加すると見込まれる。
		高級レストラン(スタッフ)	・選挙が終了し、接待客の増加が見込める。
		高級レストラン(スタッフ)	・サミットの関係で、逆に北海道の観光客入込が少しずつ増加する。
		一般レストラン(スタッフ)	・7月以降の食事の予約が増加しており、来客数、売上のある程度の増加が期待できる。
		スナック(経営者)	・選挙が終わり、街に出てくる人が増加するので、今よりは良くなる。
		観光型ホテル(役員)	・洞爺湖は早くも7月には再開できる見通しである。
		旅行代理店(従業員)	・有珠山も落ち着くけはいがあり、人の流れも活発化する。
		旅行代理店(従業員)	・選挙が終わり、有珠山の影響も少しずつ薄らいできているので、旅行業界は少しずつ上向く。
		美容室(経営者)	・近所の商店街を見ても、物の動きが良くなっている。
		住宅販売会社(従業員)	・現状の流通面での活発化がこのまま持続するように思える。
		変わらない	商店街(代表者)
商店街(代表者)	・必要な物しか買わないだけでなく、購買金額も減少している。		
商店街(代表者)	・ボーナス支給時期に、売上の増加がみられない。安くて良いものしか売れない。		
スーパー(店長)	・中元、衣料品の低単価へのシフトがみられる。景気回復の傾向はみられない。		
コンビニ(エリア担当)	・例年と違い、6月のボーナス時期に売上が増加していない。また、給料前後に売上が増加し、それ以外の時期は売上が下がる傾向が続いており、今後も財布のひもが固い状況が続くと考えられる。		
家電量販店(店長)	・客に、買おうという意気込みが感じられない。		
その他飲食[酒卸](店長)	・金曜、土曜の週末は忙しいが、平日は非常に売上が良くない。これからも同様の状態が続くと考えている。		
タクシー運転手	・ここ半年以上、売上の低下に歯止めがかからず、当面改善は見込めない。		
美容室(経営者)	・天候が良かったので、来客数が増加したが、周りを見ると、身近なところで倒産している企業もあり、総合すると、良くも悪くもなっていない。		
やや悪くなっている	百貨店(売場主任)		・ボーナスが少ないということと、ヒット商品がなく、総体的に厳しい。
	スーパー(店長)	・街全体の人の動きを見ても、回復の兆しが無いので、このままの状態、若しくは悪くなっていく。	
悪くなっている			

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
企業 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	非製造業[建設機械レンタル](総務担当)	・7月以降、入札談合問題も一段落するので、やや良くなる。
	変わらない	食料品製造業(団体役員)	・商品単価が低下しており、景気回復の先行きに明るさが見えてこない。
		非製造業[建設機械リース](従業員)	・客に購買意欲がないし、公共事業も少ないので期待できない。
		輸送業(支店長)	・荷主の状況等をみると、回復感が出るのは秋口以降であると考えられる。
	やや悪くなっている		
悪くなっている	-	-	
雇用 関連	良くなっている	人材派遣会社(社員)	・取引先企業の業績が上向きにある。
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社(編集者)	・求人件数の伸びは、建設、運輸業から、小売業、サービス業にも広がっている。
		求人情報誌製作会社(編集者)	・求人の増加から、企業の活発な動きがうかがえる。 ・アルバイト等の不安定な職の伸びが求人全体の伸びを押し上げているので、雇用者にとっては喜ばしいことだけではなく、不安材料である。
	変わらない	人材派遣会社(社員)	・景気が良くなるような話を取引先の企業から何も聞いていない。
		新聞社[求人広告](担当者)	・求人件数は昨年より増加傾向にあるが、繁華街、飲食店、水産作業員関係は減少している。
	やや悪くなっている	-	-
悪くなっている	-	-	

東北

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	家電量販店(総務担当)	・デジタル衛星放送の立ち上げにより、テレビを含め映像関連機器などの販売増が期待できる。
		タクシー運転手	・近距離・遠距離を問わず、タクシー利用客が増加している。
	やや良くなっている	商店街(代表者)	・中元、夏祭り、七夕と来客数の増加が見込まれる。
		商店街(代表者)	・6月の賞与も若干増えているらしく、今後期待できる。
		百貨店(広報担当)	・東北の場合は中元商戦が8月半ばまで続き、夏物のパッケージもあり、売上の増加が見込まれる。
		都市型ホテル(スタッフ)	・客単価は低下しているものの、取引件数が増加しており、実質的に売上増となっている。
		住宅販売会社(経営者)	・展示場への来場数が若干増加している。
	変わらない	百貨店(売場主任)	・来客数は増加しているものの、買上客の減少、買上単価の低下傾向がみられる。 ・一部のトレンド商品は売れているが、主力購買層である主婦層の売上が低下している。
			百貨店(売場主任)
		百貨店(売場主任)	・売上等の増減が大きく、部門ごとの売れ残りがかなり激しい。
		百貨店(企画担当)	・ヤング層では、通信費などIT関連の支出のウエイトが高く、ファッション関連の消費が極めて低くなっている。
		スーパー(店長)	・当社だけの売上不振ではなく、競合各社の売上も減少傾向にある。 ・買上点数も少ない傾向が続いている。
		コンビニ(店長)	・良くなる要素が見当たらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		衣料品専門店（経営者）	・秋、冬のヒット商品が見当たらず、今と比べて良くなるとは思えない。
		衣料品専門店（店長）	・客はボーナスや給与が出てから買いに来るという傾向にあり、欲しい物を欲しいときに買う状況ではないため、需要が先細りしている。
		高級レストラン（スタッフ）	・季節イベント等では、低価格商品以外は受け入れられない。
		一般レストラン（経営者）	・6月はボーナスが出たにもかかわらず、来客数も客単価も伸びていない。
		その他飲食〔和食〕（経営者）	・人の動きが活発になっているが、それが良い方向に向かっているのか判断できない。 ・客の話も良い話はなく、この先景気がどうなるか見当もつかない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・客の予約状況は、若干低下している。
		都市型ホテル（スタッフ）	・今まで回復基調にあると思っていたが、ここに来て判断がつかなくなってきた。
		美容室（経営者）	・例年、6月は売上が少しずつ増加する月であるが、今年は先月と変わらず、客数も売上も増加していない。
	やや悪くなっている	スーパー（従業員）	・客数の減少、客単価の低下、売上の減少と3拍子そろって悪くなっている。 ・商品の中でも、魚や肉など基本となる商品の落ち込みが激しい。
		その他専門店〔酒類〕（経営者）	・客の財布のひもは固く、なお一層その傾向が強まっている。
		高級レストラン（経営者）	・4～6月は前年を上回って推移したが、7月の予約状況は悪い。
		観光型ホテル（経営者）	・客の動きが鈍く、先行きの見通しがほとんど把握できない。
	悪くなっている	スーパー（経営者）	・小売業界では、消費動向が3月から停滞したままである。
		スーパー（企画担当）	・マーケットの状況が悪いなか、競合他社の新規出店が相次ぎ、結果的に全企業の売上の減少を招いている。
コンビニ（エリア担当）		・現在の消費動向から、今後も客数、客単価の減少が見込まれる。	
企業動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	食料品製造業（従業員）	・これから中元シーズンに入り、また、企業の賞与の支給額も前年より増加傾向にあるため、出荷増が期待できる。
		食料品製造業（従業員）	・中元セールも始まり、行楽客も来るため、土産品等の出荷・販売の増加が見込まれる。
		電気機械器具製造業（従業員）	・今年秋のオリンピックに向けて、テレビ等の映像関連機器を中心に需要増が期待される。
	変わらない	電気機械器具製造業（経営者）	・OA機器関連などの海外生産が進んでおり、売上が減少している。
		広告代理店（従業員）	・好影響を与えそうな要素が見当たらない。
		輸送業〔航空貨物〕（従業員）	・現在のところ、貨物量の増減要因が考えられない。
	輸送業（従業員）	・生産者も販売者もあまり良くなってはいない。	
やや悪くなっている			
雇用関連	悪くなっている	-	-
	良くなっている	人材派遣会社（社員）	・勝ち組となっている企業が前向きに人材投資を進めている姿が明確になっている。
	やや良くなっている		
		変わらない	人材派遣会社（社員）
	人材派遣会社（社員）	・求人依頼件数は増加しているが、欠員補充を派遣で行うケースが多い。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	やや悪くなっている		
	悪くなっている	-	-

関東

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連	良くなっている		
	やや良くなっている	乗用車販売店(従業員)	・新型車の発表を控えており、来場者の増加が見込める。
		一般レストラン(店長)	・賞与も出て、購買意欲が増す。
		一般レストラン(支配人)	・飲食業界では新規出店が活発化している。
		スナック(経営者)	・会社勤めの客が中心であるが、結構忙しいような話をする人が増えたので、景気は多少良くなる。
		競馬場(職員)	・売上の対前年比は、5月11%強減、6月8%減とマイナス幅が若干狭まっているので、今後は少し期待できる。
		旅行代理店(従業員)	・7～9月の店頭での受注が対前年同月比で随分良くなっている。 ・団体旅行の受注も順調に推移している。
		タクシー運転手	・夏もかなり暑くなりそうなので、景気が良くなると期待している。
		住宅販売会社(従業員)	・住宅ローン控除の期限が来年6月まで残り1年と迫っており、客がそろそろ動いてくると予想している。
	変わらない	百貨店(買付担当)	・衣料品における価格低下はこれからも続き、客の安くて良いものを選ぶ傾向も変わらない。
		スーパー(店長)	・客の消費動向から、無駄な物は一切買わない、必要最低限の物しか購入しないということが続くのではないかと。 ・お金に対する気持ちのゆとりが、少なくなっている。
		家電量販店(店員)	・景気が良くなる材料がない。
		スナック(経営者)	・売上、客数が増加しない。
		その他レジャー施設[アミューズメント](職員)	・雇用の改善、先行きの不安が払しょくされない限り、余暇に対するゆとりは持てない。
		その他サービス[学習塾](経営者)	・客の動向が全く変わらない。 ・明るい材料が周りにない。
	やや悪くなっている	衣料品専門店(従業員)	・低価格化が進んでおり、客数増加も見込めない。売上計画の見直しが必要になっている。
		都市型ホテル(スタッフ)	・公務員倫理法の影響で、飲食を伴う会議に出席するための公務員の手続きが面倒になり、ホテルでの飲食等が敬遠されているようである。
		旅行代理店(従業員)	・見積、問い合わせ、団体旅行の動きがなかったことから、2、3か月先は悪くなる。
	悪くなっている	-	-
	企業動向 関連	良くなっている	-
やや良くなっている		電気機械器具製造業(経営者)	・9月に向けての引き合いがかなり出てきている。
		その他企業[情報サービス](従業員)	・IT関連の商談は引き続き好調なため、2、3か月先も右肩上がりの状態で推移する。
変わらない		精密機械器具製造業(経営者)	・ある程度景気が上向いてきたので、この辺りで安定期に入る。これ以上の需要は3か月先でもなく、このペースで推移する。
	その他製造業[金属製品](総務担当)	・単価が厳しく、売上もそれほど増加しない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		非製造業[廃棄物処理](経営者)	・相変わらずコスト削減の動きが根強い。
		その他企業[情報サービス](従業員)	・情報通信業では、若干景気が上向いているが、2、3か月間は、このような傾向が続く。
	やや悪くなっている		
	悪くなっている	-	-
雇用関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社(社員)	・4月以来、派遣スタッフを募集しても応募がない状態が続いている。他に採用が決まっていることのためである。
	変わらない	人材派遣会社(社員)	・2、3か月先に雇用が増加する要因がない。 ・ゆとりのある人員を確保できるほど企業の体力はない。
	やや悪くなっている	新聞社[求人広告](営業担当)	・正社員からすぐに解雇できるパートや契約社員に切り替え、必要などきだけ雇う会社が増えている。
	悪くなっている	-	-

東海

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連	良くなっている		
	やや良くなっている	百貨店(売場主任)	・消費全般はまだまだ低迷しているが、高額品などの一部に動きが出始めている。
		スーパー(店長)	・最近売上が増加してきている。
		乗用車販売店(従業員)	・現状が良く、また今後各社の新商品投入が続いていく。
		高級レストラン(スタッフ)	・客足が戻り、食事を楽しもうという様子がうかがわれ、明るさが出始めている。
		スナック(経営者)	・依然として1人当たりの単価は下がっているが、客数は少し増加している。
		観光型ホテル(スタッフ)	・3か月先の予約の状況は宿泊、宴会ともに3%、月によっては6%ほど増加している。
		都市型ホテル(スタッフ)	・夏休み期間の週末、特にお盆休みの予約が順調に入っている。
		都市型ホテル(スタッフ)	・中部国際空港の着工により、人の動きが活発化すると予想される。
		テーマパーク(職員)	・客の問い合わせが増えてきている一方で、夏の合宿利用も昨年並みかそれ以上見込まれる。
		旅行代理店(従業員)	・余暇を利用して海外旅行をする企業経営者が増えている。
	変わらない	一般小売店[土産](経営者)	・客の動向をみる限りでは、景気が良くなるけはいは見受けられない。
		百貨店(販売促進担当)	・景気の上昇が実感しにくいいため購買意欲の向上を期待できず、今後も価格を慎重に考慮した買物が続く。
		百貨店(企画担当)	・来客数は増えると予想されるが、客単価の低下は回復しない。
		スーパー(店長)	・商品の選別傾向が、今後より顕著に出てくる。
		コンビニ(店長)	・子供が欲しがっても余分な物は買わないという親の姿勢が、依然として続いている。
		乗用車販売店(経営者)	・ボーナス格差が拡大し可処分所得に余裕のなさが感じられ、予算内の購入に固執する傾向にある。
		乗用車販売店(従業員)	・客の来店率が回復していない。
		パチンコ店(店長)	・若干の消費金額の伸びはあるが一時的であり、まだ全般的な消費金額の伸びとは思えない。
		タクシー運転手	・本来ならば6月から夏場にかけては、もっと売上が上昇カーブを描いてもいいのに、そういった状況ではない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	やや悪くなっている	住宅販売会社（従業員）	・転職3年目未満の人や自己資金のない人等はローンの借入れが厳しく、買うに買えない状況にある。
		百貨店（売場主任）	・希少価値のある一部の趣味し好品を除けば、消費者は必要最低限の物しか買わない傾向にある。
		コンビニ（エリア担当）	・月を追うごとに、売上が悪化してきている。
		ゴルフ場（経営者）	・3か月先の予約状況は、対前年比で10%以上減っている。
		旅行代理店（従業員）	・夏休みの商品の申込が少ない。
	住宅販売会社（従業員）	・来月以降の受注見込みはあまり立っていない。	
	悪くなっている	-	-
企業動向関連	良くなっている	電気機械器具製造業（営業担当）	・受注残も増えて納期に追われる状態にある。
		税理士	・企業収益が向上しており、配当金その他が多少増加しており、それが消費にまわると思う。
	やや良くなっている	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・数か月後に設備投資を実施するといった企業が多くなっている。
		輸送業（エリア担当）	・中部国際空港の着工が始まって、荷動きも良くなる。
	変わらない	輸送業（エリア担当）	・トラックが扱う貨物量は増加しているが、運賃は低下する一方にある。
	やや悪くなっている	新聞販売店[広告]（店主）	・一部で介護保険料の徴収が始まり、新聞購読にどんな影響があるか不安である。
悪くなっている	-	-	
雇用関連	良くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	・大手企業の求人広告発注が増加しただけでなく、中小企業の件数も非常に伸びてすそ野が広がっている。
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	・特定の業界で、新規プロジェクトやサービスの運用等に対するプレゼンテーションが多くなっている。
		新聞社[求人広告]（担当者）	・特にIT関連の電子部品メーカーや、自動車、輸出関連の部品メーカーによる求人広告が増えている。
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	・営業職、技術系で若年層の求人ニーズが続いている。
	やや悪くなっている	-	-
	悪くなっている	-	-

近畿

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連	良くなっている	家電量販店（店員）	・新製品が必ず売れると期待される。
	やや良くなっている	コンビニ（店長）	・今年は猛暑の予報なのでビールの売上が増加することを期待している。
		コンビニ（エリア担当）	・梅雨明けから猛暑が予想されており、売上也伸びるとみられる。
		その他専門店[薬]（経営者）	・6月末ごろから少しずつチラシを入れれば買上点数が増加するようになっている。
		乗用車販売店（営業担当）	・最近では客の検討期間が非常に短くなっている。 ・受注量が若干増加している。
		乗用車販売店（営業担当）	・訪問先の客からそれほど悪い話を聞かない。
		スナック（経営者）	・店で以前のように深刻な話を聞かなくなっており、商談にも明るさがみられてきている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊・宴会とも予約の状況が改善している。
都市型ホテル（スタッフ）	・淡路花博関連は今まで近畿地区の客が中心であったが、関東地区の客の予約も入り始めている。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		観光名所（経理担当）	・数か月間、売上の前年比伸び率が少しずつであるが良くなってきている。
		旅行代理店（営業担当）	・過去3か月間、客の動きが活発になっている。
		タクシー運転手	・客との車内での対話において、やや良くなるという声がかかり聞こえるようになってきている。
		美容室（経営者）	・来店サイクルが今までよりは上がっている。 ・客単価が少し上昇している。
		住宅販売会社（営業担当）	・住宅の建築需要は住宅ローン減税が終わる来年6月に向けて高まっていくとみられる。
		その他住宅[展示場]（従業員）	・来年6月までの入居に限り適用される住宅ローン減税により、これからも来客数は増加する。
	変わらない	商店街（代表者）	・購買行動に活気が出るとは思われず、店側も半分あきらめている。
		商店街（代表者）	・必要な物しか買わない傾向が続き、単価の下落と相まって売上は増加しない。
		商店街（代表者）	・5月は消費を楽しむという傾向があったが、何か客に不安があるのか消費が低迷している。
		百貨店（売場主任）	・顧客の購買動向に大きな変化がなく、紳士服は苦戦、婦人服は順調に推移している。
		スーパー（経理担当）	・所得が急激に増加せず、依然残業などを減らされている状況である。
		旅行代理店（営業担当）	・選挙が終わってから申込が増加しているが、旅行に対する消費者の意欲がどの程度強いが見極める必要がある。
	やや悪くなっている	スーパー（経理担当）	・消費マインドに変化がないことから先行き大きな期待はできない。
		美容室（店長）	・予約が入らない。
	悪くなっている	その他専門店[宝石]（経営者）	・客がますますリストラの対象になっており、可処分所得の多い人も不安が増幅している。
競輪場（職員）		・開催するごとに売上が連続して減少している。	
企業動向関連	良くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	・受注状況を見ると、この先かなり回復する。
	やや良くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	・最近では長期にわたる計画的な設備投資の話が増加している。
		その他製造業[金属製品]（経営者）	・新しい商品の引き合いや開発の話が多少出てきている。
		経営コンサルタント	・受注状況を見ると、3か月先、6か月先の注文が増加している。 ・各業種のコンサルティング先でも注文が増加する傾向にあり、力強い回復が感じられる。
		会計事務所（職員）	・経営者や従業員のマインドが活性化している。 ・新しい取引が増加している。
	変わらない	繊維工業（経営者）	・消極的な取引が非常に多く、値崩れがかなり進み、利益を確保することが難しいという話を多数聞いている。
		輸送業（営業所長）	・輸送業界では、物はあまり動いていない。
		その他企業[ネジ]（団体役員）	・ユーザーの購買力が回復しているとはいえない。
	やや悪くなっている	繊維工業（経営者）	・業界で輸入比率が上昇している。たとえ消費が若干好転しても、非常に悪い方向に動いている。
		その他製造業[紙加工品]（経営者）	・材料の値上げにより、利益が減少すると予想される。
		その他企業[タオル]（団体職員）	・輸入量がますます増加し、国内の需要が激減している。需要期を前に大きな発注、受注が望めない。
	悪くなっている	-	-

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
雇用 関連	良くなっている	人材派遣会社（社員）	・受注が増加し、コンピュータ・スキルのある登録スタッフの配属が間に合わなくなっている。
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	・ウェブ系などIT関連業界からの人材のニーズが引き続き増加する。
		人材派遣会社（経営者）	・製造業関係から徐々に受注が出てきている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・フード、販売、サービスなど消費関係の伸びは低いものの、電機、機械、IT系のエンジニア、営業職、事務職などほとんどのところで前年比で20%以上伸びている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・取引先など周囲で積極的な新会社の設立がみられる。
	変わらない		
	やや悪くなっている	アウトソーシング企業（経理担当）	・得意先で不安感が高まっている。
悪くなっている	-	-	

九州

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている		
	やや良くなっている	一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	・秋にかけて魚もおいしくなるので、良くなればという希望的観測を持っている。
		スーパー（店長）	・ショッピングセンターはアミューズメント性があるので、夏休みは期待できる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・夏休みの家族連れや秋口の学会等の予約が見込める。
		パチンコ店（従業員）	・ボーナス時期でもあり、店の隣に大きなショッピングセンターができたので、客が流れてくるのを期待している。
		パチンコ店（従業員）	・客の購買意欲が徐々に高まってきており、その傾向が今後も続く。
		旅行代理店（従業員）	・夏休みの個人客の予約が入っており、海外の家族旅行が例年に比べ多くなっている。
		住宅販売会社（従業員）	・来年6月の住宅減税の期限までに契約が集中することが期待される。
	変わらない	商店街（代表者）	・客単価の上昇が望めないなかで、売上の増加につながる決定的な材料がない。
		百貨店（販売促進担当）	・価格に対する消費者の見方が厳しくなっていく。プラスとなっていたGDP速報値とは裏腹に、今後も依然として厳しさが続くと思われる。
		百貨店（営業担当）	・大型催事で集客は良くなっているが、全般的にまだ購買意欲は向上していない。
		スーパー（店長）	・食品は単価が低下しつつある。IT関連は良いが、ファッション関連が厳しくなっている。
		衣料品専門店（総務担当）	・ボーナスが大幅減となっているので、地元の百貨店、小売業は夏の商戦に不安を感じている。
		一般レストラン（スタッフ）	・夜間の来店客も増えず、土日も平日並みの客数しかない。
		スナック（店長）	・夜、街は若者でにぎわっているが、店にお金を落としてくれる年齢層の人達が全くいない。先行き不安である。
		ゴルフ場（支配人）	・非常に厳しい状況にあり、急激に良くなるとは思えない。
		旅行代理店（従業員）	・上昇はいもいつまで続くか分からず、先行き不安が続いている。
		タクシー運転手	・深夜の客足が伸び悩んでいるので、大きな変化は期待できない。
	やや悪くなっている	スナック（経営者）	・夏休みに入るので行楽にお金回り、ボーナスカットも影響してくる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		ゴルフ場（従業員）	・予約状況が悪化している。
	悪くなっている	一般レストラン（スタッフ）	・悪くなる一方であり、良くなる要因がない。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	精密機械器具製造業（経営者）	・2～3か月後には設備を増強してほしいという話も来ている。
		輸送業[陸上貨物]（従業員）	・コンテナヤードの稼働時間が、7～9月は1時間延長されるので、売上増につながる。
	変わらない	輸送用機械器具製造業（営業担当）	・普段落ち込む時期も受注が来ており、今年いっぱい仕事は落ち込むことはない。
		輸送業[倉庫]（従業員）	・季節変動の商品があるため、夏場に飲料が増えても食料品が減る。景気が上向き要因がないので変わらない。
	やや悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	・現在、取引先では、設備投資が行われており、3か月後は落ち着いている。
悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	・現在の好調を支えている商品（変圧器）が激減するとみている。	
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・3か月後まで受注が決まっており、件数も若干増えてきている。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・雇用自体は増加するが、一時的なものなので現状維持で推移する。
		求人情報誌製作会社（総務担当）	・全体を底上げするには至らないが、求人側に意欲が感じられるのは明るい兆しである。
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	・景気回復に対する具体策が見当たらない。
	悪くなっている	-	-

(参考) 現在の景気水準に対する判断

現在の景気的水準自体に対する判断は、以下のとおりであった(注)。

図表 - 参考 - 1 各分野における景気の現状水準判断D Iの推移表

(D I)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
合計	32.0	37.0	46.1	46.0	43.0	43.5
家計動向関連	29.7	34.9	43.6	42.7	39.1	39.7
小売関連	29.2	37.0	40.8	41.6	36.7	38.9
飲食関連	28.6	31.1	45.7	37.5	37.9	37.1
サービス関連	31.1	33.5	46.6	45.4	42.0	40.9
企業動向関連	33.6	39.1	48.5	53.4	51.5	49.4
雇用関連	47.0	50.5	60.9	57.8	56.4	62.0

(備考) 1月は関東を除く5地域の合計。

図表 - 参考 - 2 各地域における景気の現状水準判断D Iの推移表(各分野計)

(D I)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全国	32.0	37.0	46.1	46.0	43.0	43.5
北海道	31.5	36.6	40.0	36.8	38.0	40.5
東北	26.6	36.5	43.6	45.4	40.1	41.4
関東		33.1	46.4	45.6	44.4	45.7
東海	40.8	41.8	52.0	48.5	49.5	48.2
近畿	27.2	33.6	41.9	47.8	41.1	39.7
九州	33.2	40.4	52.6	53.1	45.2	45.5

(注) 景気の現状をとらえるには、景気の方角性に加えて、景気的水準自体について把握することも必要と考えられることから、参考までに掲載するものである。

(別紙) 景気ウォッチャー(調査客体)の地域別・分野別構成

	北海道		東北		関東		東海	
合計	100	100.0%	100	100.0%	100	100.0%	100	100.0%
家計動向関連	72	72.0%	73	73.0%	70	70.0%	73	73.0%
小売関連	36	36.0%	35	35.0%	25	25.0%	35	35.0%
商店街代表者	5	5.0%	4	4.0%	1	1.0%	1	1.0%
一般小売店経営者・店員	1	1.0%	2	2.0%	2	2.0%	5	5.0%
百貨店売場主任・担当者	5	5.0%	7	7.0%	6	6.0%	5	5.0%
スーパー店長・店員	5	5.0%	6	6.0%	5	5.0%	6	6.0%
コンビニエリア担当・店長	5	5.0%	4	4.0%	4	4.0%	6	6.0%
衣料品専門店経営者・店員	3	3.0%	3	3.0%	2	2.0%	0	0.0%
インテリア専門店経営者・店員	0	0.0%	2	2.0%	0	0.0%	0	0.0%
家電量販店経営者・店員	5	5.0%	2	2.0%	2	2.0%	3	3.0%
その他専門店経営者・店員	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%	3	3.0%
乗用車、自動車備品販売店経営者・店員	7	7.0%	4	4.0%	3	3.0%	6	6.0%
卸売業従事者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他小売の動向を把握できる者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
飲食関連	12	12.0%	11	11.0%	13	13.0%	9	9.0%
高級レストラン経営者・スタッフ	5	5.0%	3	3.0%	2	2.0%	2	2.0%
一般レストラン経営者・スタッフ	2	2.0%	4	4.0%	6	6.0%	3	3.0%
スナック経営者	4	4.0%	3	3.0%	5	5.0%	4	4.0%
その他飲食の動向を把握できる者	1	1.0%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%
サービス関連	20	20.0%	22	22.0%	29	29.0%	24	24.0%
観光型ホテル・旅館経営者・スタッフ	1	1.0%	5	5.0%	0	0.0%	1	1.0%
都市型ホテル・旅館経営者・スタッフ	0	0.0%	4	4.0%	4	4.0%	3	3.0%
観光名所、遊園地、テーマパーク職員	1	1.0%	3	3.0%	0	0.0%	6	6.0%
ゴルフ場経営者・従業員	0	0.0%	0	0.0%	3	3.0%	1	1.0%
パチンコ店経営者・従業員	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.0%
競輪・競馬・競艇場職員	0	0.0%	3	3.0%	2	2.0%	0	0.0%
その他レジャー施設職員	0	0.0%	0	0.0%	2	2.0%	0	0.0%
旅行代理店経営者・従業員	5	5.0%	2	2.0%	4	4.0%	3	3.0%
タクシー運転手	7	7.0%	3	3.0%	6	6.0%	3	3.0%
美容室経営者・従業員	5	5.0%	2	2.0%	2	2.0%	3	3.0%
ガソリンスタンド従業員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%
その他サービス等の動向を把握できる者	0	0.0%	0	0.0%	6	6.0%	1	1.0%
住宅関連	4	4.0%	5	5.0%	3	3.0%	5	5.0%
設計事務所所長・職員	1	1.0%	2	2.0%	1	1.0%	2	2.0%
住宅販売会社経営者・従業員	3	3.0%	3	3.0%	2	2.0%	3	3.0%
その他住宅投資の動向を把握できる者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
企業動向関連	19	19.0%	19	19.0%	23	23.0%	19	19.0%
地域の産業構造上特色ある企業経営者・従業員	10	10.0%	10	10.0%	17	17.0%	5	5.0%
農林水産業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
食料品製造業	3	3.0%	6	6.0%	2	2.0%	1	1.0%
繊維工業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
家具及び木材木製品製造業	1	1.0%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%
一般機械器具製造業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
電気機械器具製造業(精密機械も含む)	0	0.0%	3	3.0%	5	5.0%	1	1.0%
輸送用機械器具製造業	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	2	2.0%
その他製造業	1	1.0%	0	0.0%	4	4.0%	1	1.0%
非製造業	5	5.0%	0	0.0%	5	5.0%	0	0.0%
広告代理店従業員・新聞販売店[広告]店主	1	1.0%	4	4.0%	3	3.0%	4	4.0%
輸送業関係者	3	3.0%	3	3.0%	2	2.0%	6	6.0%
司法書士・経営コンサルタント・会計事務所職員等	3	3.0%	2	2.0%	1	1.0%	4	4.0%
コピーサービス店員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他企業の動向を把握できる者	2	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
雇用関連	9	9.0%	8	8.0%	7	7.0%	8	8.0%
人材派遣会社社員・アウトソーシング企業社員	2	2.0%	6	6.0%	3	3.0%	3	3.0%
求人情報誌製作会社編集者	4	4.0%	0	0.0%	2	2.0%	3	3.0%
新聞社[求人広告]担当者	3	3.0%	2	2.0%	2	2.0%	2	2.0%
その他雇用の動向を把握できる者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

(単位 : 人 / %)

近畿		九州		全国合計	
100	100.0%	100	100.0%	600	100.0%
68	68.0%	72	72.0%	428	71.3%
32	32.0%	35	35.0%	198	33.0%
7	7.0%	10	10.0%	28	4.7%
0	0.0%	3	3.0%	13	2.2%
4	4.0%	4	4.0%	31	5.2%
4	4.0%	6	6.0%	32	5.3%
3	3.0%	4	4.0%	26	4.3%
2	2.0%	2	2.0%	12	2.0%
1	1.0%	1	1.0%	4	0.7%
2	2.0%	3	3.0%	17	2.8%
5	5.0%	0	0.0%	9	1.5%
3	3.0%	1	1.0%	24	4.0%
1	1.0%	0	0.0%	1	0.2%
0	0.0%	1	1.0%	1	0.2%
8	8.0%	8	8.0%	61	10.2%
2	2.0%	2	2.0%	16	2.7%
4	4.0%	3	3.0%	22	3.7%
2	2.0%	3	3.0%	21	3.5%
0	0.0%	0	0.0%	2	0.3%
23	23.0%	23	23.0%	141	23.5%
2	2.0%	2	2.0%	11	1.8%
3	3.0%	1	1.0%	15	2.5%
3	3.0%	0	0.0%	13	2.2%
1	1.0%	3	3.0%	8	1.3%
0	0.0%	5	5.0%	8	1.3%
3	3.0%	2	2.0%	10	1.7%
1	1.0%	0	0.0%	3	0.5%
2	2.0%	2	2.0%	18	3.0%
3	3.0%	6	6.0%	28	4.7%
4	4.0%	2	2.0%	18	3.0%
1	1.0%	0	0.0%	2	0.3%
0	0.0%	0	0.0%	7	1.2%
5	5.0%	6	6.0%	28	4.7%
1	1.0%	2	2.0%	9	1.5%
2	2.0%	4	4.0%	17	2.8%
2	2.0%	0	0.0%	2	0.3%
23	23.0%	20	20.0%	123	20.5%
11	11.0%	13	13.0%	66	11.0%
0	0.0%	1	1.0%	1	0.2%
0	0.0%	3	3.0%	15	2.5%
2	2.0%	0	0.0%	2	0.3%
0	0.0%	0	0.0%	2	0.3%
3	3.0%	1	1.0%	4	0.7%
3	3.0%	4	4.0%	16	2.7%
0	0.0%	3	3.0%	6	1.0%
2	2.0%	1	1.0%	9	1.5%
1	1.0%	0	0.0%	11	1.8%
3	3.0%	3	3.0%	18	3.0%
2	2.0%	3	3.0%	19	3.2%
3	3.0%	1	1.0%	14	2.3%
0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4	4.0%	0	0.0%	6	1.0%
9	9.0%	8	8.0%	49	8.2%
5	5.0%	3	3.0%	22	3.7%
2	2.0%	2	2.0%	13	2.2%
1	1.0%	3	3.0%	13	2.2%
1	1.0%	0	0.0%	1	0.2%